

TERMIS EU への参加

創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 細胞分子情報学分野

D3 竹本悠人

出張先：Poland (Kraków)

出張期間：6/25-7/4

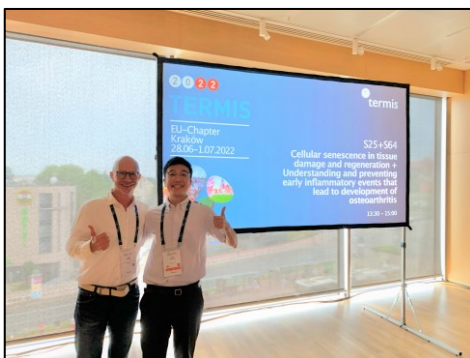
出張目的：TERMIS で口頭発表および議長を務める、ダブルメンターとの研究打ち合わせを行う為

概要：

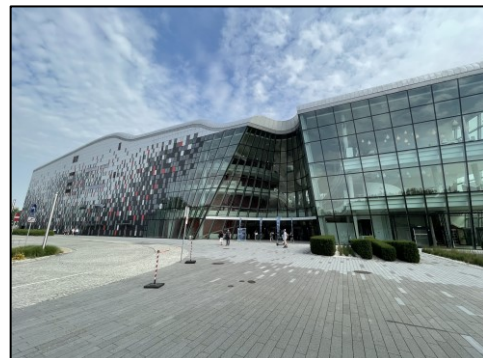
ポーランドのクラクフで行われた国際学会 Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society EU (TERMIS EU)に参加し、「Morphology-based detection of senescence in expanded mesenchymal stem cells」という演題で口頭発表を行った。また、ダブルメンターである Prof. Dr. Bernd Rolaufts と共に「Bringing together state-of-the-art quantitative biology and machine learning-based modeling for controlling and predicting cell and cell population phenotype in the context of regenerative medicine」というシンポジウムの議長を務め、その後の研究打ち合わせを行い、融合研究について議論した。

所感：

初めて国際学会に現地参加した為、会場規模の大きさや様々な国籍の研究者が一同に会して議論している様子に驚いた。発表を聞いている中で、様々な訛りの英語で発表する研究者が多くいたが、その殆どが自信をもって発表していることに気が付いた。私も“発音とか文法に気を取られ過ぎずに、とにかく話す”ことを意識することで、初めて務めた議長や口頭発表、そしてダブルメンターとの研究打ち合わせを有意義に行うことができ、良い経験となった。



ダブルメンターとの写真



学会会場